

公立大学法人県立広島大学中期目標・中期計画素案の概要

中 期 目 標

「確かな教育と研究に支えられた実践力ある人材の養成」

中期目標の期間 平成 19 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日（6 年間）

重点項目

ねらい

(1) 実践力のある人材の育成

主体的に考え、行動し、地域社会で活躍できる実践力のある人材を育成するため、アドミッションポリシーに応じた入学者を確保するとともに、教育内容の充実強化を図る。また、きめ細かな就職支援を行い、地域社会で活躍する人材を輩出していく。

(2) 地域に根ざした高度な研究

社会や時代の要請にこたえる最先端の研究を行い、その成果を地域に還元していく。このため、積極的に地域との連携を図り、地域の課題に対する研究を進めるとともに、企業等の活性化に資する研究を行う。

(3) 大学資源の地域への提供

地域のシンクタンクとしての役割を果たすとともに、生涯学習意欲の高まり等も視野に入れながら、大学が持つ知的・物的資源を地域に積極的に提供し、地域産業、地域社会の活性化に貢献する。

(4) 大学運営の効率化

公立大学法人化の利点を活かしながら、社会経済情勢の変化に迅速に対応し、効率的で透明性の高い大学運営を行う。

法人化のメリット

- ・機動的・弾力的な組織運営
- ・弾力的な人事・給与システム
- ・目標評価システム
- ・自主的な財務運営によるコスト管理
- ・企業会計原則

- ・迅速な意思決定
- ・スリムで効率的な組織体制
- ・戦略的な資源配分
- ・法人経営の適正性、透明性の確保
- ・学生等の満足度の向上

中 期 計 画

...新たな取組

意欲ある学生の確保

アドミッション・ポリシーの明確化
入学選抜方法の検証と改善
オープンキャンパス、高校訪問等による学部・学科の知名度アップ
社会人受入れ制度の充実

確かな教育の実施

導入教育の充実
キャリア教育の充実
社会人としての行動様式、責任感の涵養
助産学専攻科の開設
現代GPの着実な実行
チューター制度の充実

授業の改善

FD活動の推進（教員の意識改革）
教員の業績評価制度の導入
学生による授業評価の実施

確かな研究の推進

受託研究・共同研究等による産学連携の推進
地域課題解決型研究の推進
科学研究費補助金の獲得
研究内容の教育への反映
研究シーズ（研究人材、研究成果等）のPR

大学資源の地域への提供

県政との密接な連携
地域のシンクタンク機能の発揮
生涯学習ニーズへの対応
知的財産の技術移転の推進

きめ細かな就職支援

キャリアセンター（仮称）の設置
インターンシップの着実な実施
学生に対する資格取得の支援
積極的な企業開拓
既卒者とのネットワークの構築

大学運営の効率化

業務運営の改善・効率化

全学的な経営戦略の確立、経営企画室（仮称）の設置
学外有識者・専門家の登用
監査制度の充実
学部、学科、研究科、附属センターの継続的見直し
特任教授（仮称）、特命教授（仮称）など多様な任用制度の導入
助教、助手等への任期制の導入
年俸制、裁量労働制の導入の検討
外部研究資金等、自己収入の増加
公開講座、大学施設の貸出し等による収入源の確保
業務委託等の推進
計画的な定員配置、予算執行管理の徹底等による経費の抑制
自己点検・評価結果の公表と大学運営改善への反映
教育研究活動の積極的な公開と戦略的な広報の実施

財務内容の改善

自己点検・評価

情報公開

基本理念

地域に根ざした県民から信頼される大学